

令和2年度 文化庁委託「収益力強化事業」

≪ 楽団創立期以来の演奏音源を活用した収益力強化事業

及び著作権隣接権等管理基盤整備事業 ≫

報告書

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

(委託事業実施期間: 令和3年1月29日～令和3年3月31日)

令和3年5月4日作成

1. はじめに

1) 背景と問題意識:

外部環境①:

- ・コロナ禍の長期化により、ライブ演奏による収益の減少も長期化
- ・ライブ配信事業は、短期的には収益化のめどが立たない
(コストとニーズのギャップ、ライブ誘客と配信誘客の相反)
- ・過去の演奏音源の活用による収益力強化の必要性和可能性

外部環境②:

- ・レコード産業の急激な業態変化(CD から配信へ)。クラシック業界の対応状況

2020年2月26日、政府からの突然のイベント自粛要請から始まったコロナ禍の影響の長期化に伴い、オーケストラはその主たる事業である「生の演奏」による収益確保の機会が損なわれ続けている。日本フィルハーモニー交響楽団では2021年3月末日までに70公演が中止、17公演が延期となり、その結果事業収入6億円が失われた。当団の年間公演数は約150公演、年間事業規模14億円で、損失の影響は甚大である。

事態の収束のめどが立たない状況下で、事業収入機会の拡大、早急な収入の多角化の模索の中、音源の販売による事業収入機会の拡大も喫緊の課題であるが、一方では音楽産業の急激な業態変化により、CDなどの音楽コンテンツの製造・販売は展開可能性が減少している。そこで、かねてから注目されていた海外のオーケストラの事例のように、演奏のインターネット配信のみならず演奏録音の活用(二次使用)による新たな収益の柱を確立することによる収益力強化と、そのための環境整備が急務と考えた。

しかしながら、これまでも演奏録音の活用については、以下の2つのオーケストラ固有の課題により実現が困難であった。

・CD化などの「演奏の録音音源の二次使用」については、一般的にレコード制作事業者が原盤権を譲渡するなどしており、レコード制作事業者等のノウハウに依拠しているため収益力の強化に結び付かないこと。今後は原盤権を自ら保持し多角的に音源を活用する方向性が望ましく、そのための環境整備が必要であるが、整備には先行資金とノウハウの獲得が必要となる。

・著作権隣接権利保持者全員の特定が難しいため、とりわけ過去の音源活用における著作権隣接権の処理が極めて困難であること。実演団体「日本フィルハーモニー交響楽団」は1アーティストと見做されるが、100人近くの実演家が構成している。実演家には楽団員のみならず「エキストラ」と呼ばれる外部実演家も多く含まれる。また1演奏会の中でも実演家は楽曲ごとに異なるという実態がある。

エキストラ奏者に対し、演奏出演のほかに隣接権を先払いしている事例はごく限られており、過去の実演の録音を二次使用する際には、これら外部出演者への著作権隣接権処理が発生する(レコード制作事業者がリリースする場合も、著作権隣接権の再配分は楽団の内部処理事項となる)。しかし、「日本フィルハーモニー交響楽団」なるアーティストの権利処理は演奏ごとに異なるため、とりわけ過去の音源については、実演家を特定することや、録音物の二次使用についての再度の権利処理は膨大かつ困難な作業となり、事実上音源活用を困難としていた。

2) 事業目的:

音源を「活用しながら保存」し、アーカイブと収益化を両立

そこで本事業では、既に CD の自社制作販売を多く手掛けた実績と、創立以来の音源を保持しているという楽団の強みを生かし、創立期以来の音源の自主販売を行い、また、その準備過程を通じて権利処理等の必要な工程を整理、着手するとともに、音源の二次使用を前提とした実演家との演奏出演契約モデルを作成、運用することとした。

内部環境(日本フィルの強み):

- ・楽団創立期以来の演奏記録音源を保有。芸術的価値・音楽史的価値の高いものも多い
 - ・「日本フィル・シリーズ」45 作(日本の作曲家への作品委嘱シリーズ)
 - ・その他日本人作曲家作品(未商品化)
 - ・歴史的巨匠との共演、名演奏の記録 1100 曲程度を資料保存。
 - 約 80 曲は速やかな商品化可能と判断。
- ・現在も主催公演の記録用録音を継続

芸術的・音楽史的価値が高い過去の音源資料は劣化の危険にさらされており、ハイレゾ音質でのデジタルアーカイブによる保存が求められていた。実現への最も大きな課題はデジタル化にかかる多額のコストで、当団にとってはコロナ禍以前より実現の困難な課題であった。

本事業では、文化庁収益力強化事業の委託を受けることで、貴重な音源資料をハイレゾ・デジタルライズし、「活用しながら保存」し、日本フィルのみならず日本の音楽界の財産と言える音源記録の保存と収益化を両立させる。並びに将来的な収益の柱としての事業成長を期待し、楽団の収益力強化を目指す。

過去の録音の活用における課題、エキストラ奏者の著作権隣接権処理について、日本フィルはこれまで、①実演段階で録音の二次使用が確定している場合、既定の「録音料」を出演料に加算 または ②記録用録音の二次使用が確定した段階で「録音料」を追加支払い のいずれかの形を採っている。しかしながらライブ演奏の権利処理は通常演奏会終了直後とともに終了するため、支払い帳票等の法定保管期間(7年)経過後に②が発生した場合、遡って権利者であるエキストラ奏者等の実演家を特定すること自体が困難な状況になる。

そこで本事業を通し「**実演家の権利を守る音源活用の手法**」を確立することも目的とする。年数を経過した音源の著作権隣接権処理については文化庁長官裁定制度の活用可能性があるため、その実務を進め、裁定の手法についてもモデルを作成し公表することを目指す。

事業の成果物として、音源配信のみならず配信における課題の所在、解決の手法といったプロセスも本報告書によって公表することで、オーケストラや実演団体の収益力強化に貢献することも目的とした。

3) 各事業の趣旨

事業①: 音源の販売と必要な環境整備

文化庁委託事業となる第1年次事業(2020年度事業)はまず、日本フィルの創立期を含む歴史的音源ならびに、近年の演奏音源約80曲分をハイレゾ音質でデジタル・アーカイブ化、並びにハイレゾ・マスタリングする。また、自主ブランドとして配信をメインに商用活用する端緒として、実際に商用利用開始する。(デジタルライズ後に演奏・録音状態を確認し、商用化について判断する。)

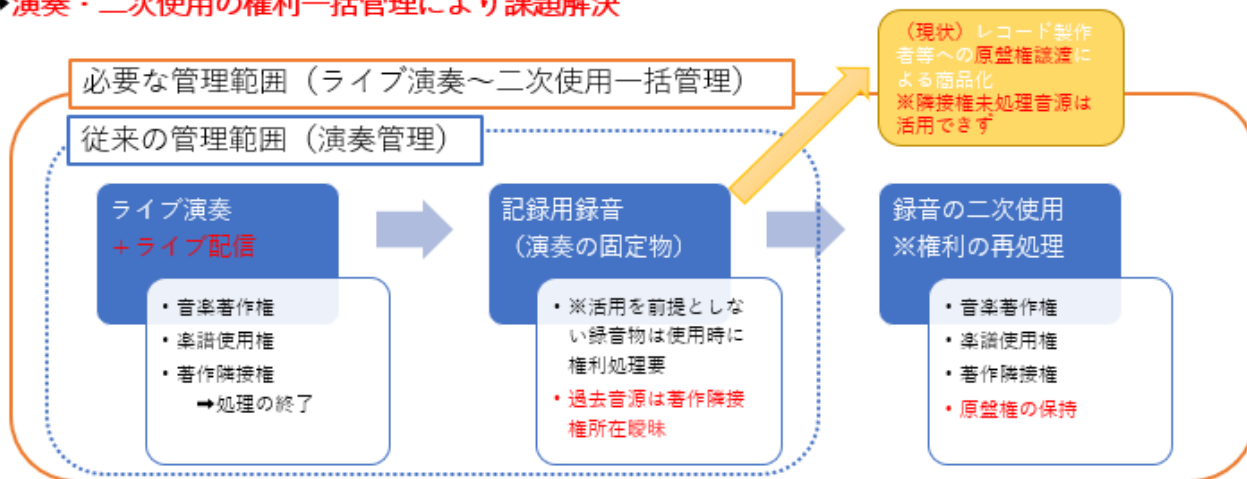
また、2021年以降の安定的な事業継続と収益化を目指し、必要な基盤整備も併せて行う。具体的には、自主流通等にあたり必要な自主レーベルの設立と定款への事業内容追加、音源のダウンロード販売およびストリーミング販売等の開始、活用可能な音源の提示、等である。

活用にあたっては、1)で述べたようにオーケストラ固有の課題である著作隣接権等の権利、およびその他必要な権利の処理(事業②)が前提となるため、②の事業を並行して行う。将来にわたり安定的に権利状況を明確となるようアーカイブとデータベースを構築し、将来的な音源の適切な管理と活用の基盤整備を同時に進めていく。(なお2020年度は著作隣接権の権利保護期間が終了した音源、また権利処理が容易な近年の音源から販売開始する。)これにより、オーケストラ自身による音源活用の促進に寄与することも目的とする。

事業②: 著作隣接権等の「権利情報集約化の取り組み」

■音源にまつわる権利関係の課題解決イメージ:

→演奏・二次使用の権利一括管理により課題解決



過去の著作物の出演演奏家

音源活用にあたって行うべき著作隣接権処理のため、権利関係の情報集約が課題となる。

そこで本事業ではまず、商用にあたっての権利関係を再点検し、楽団内の著作隣接権に関する現況をまとめる。次に、今後の事業①の円滑かつ確実な業務遂行のため、既存の著作権管理システムもレビューしながらこれら課題の解決手法を検証し、オーケストラ等実演団体にふさわしい将来的な保存の仕組みを備えた「ライブ演奏の著作隣接権処理と一体となった権利処理データベースの設計、実装」を実現する。

事業①において販売する音源はこのシステムを活用し権利処理、システムの課題等があれば検証・解決し、2021年度に本格運用開始する。

著作隣接権保持者に対する現状の業務の点検

主に下記等の、将来的に必要な運用の基盤整備業務を行う。

1) 著作隣接権に関し、音源の多角的活用に対応する統一的なルール作り:実演家との出演契約の見直し、音源二次使用の著作隣接権も配慮した演奏出演契約への移行

2) 過去音源にかかる手続き上の課題解決:権利処理が難しいケースについて文化庁長官裁定制度を活用

事業③:効果の検証と公表

速やかな収益力の強化を目指すため、レーベル設立のPR、リリース計画の告知を2020年度内に開始、翌年度以降の収益化見込みを検証するとともに、データベースシステムを他社使用可能な形で開発し、楽団体全体の収益力の向上に寄与することを目指す。

2. 実施事業内容

1) 音源の整理、商用整備

日本フィルが保有・保存する、創立期を含む歴史的音源より、本事業では第1弾として1957年から1967年の演奏84曲分(オープンリール121本)を日本コロムビア(株)によりオールデジタル化(94khz/24bit、wav)およびハイレゾ・マスタリング(原盤制作)した。

対象音源は、①創立期からのもの(資料として古いもの)②2006年の調査により音源の資料的価値が高く保存状態がよいと評価されたもの(商用化可能性の高いもの)③実演家の著作権隣接権が時効により消滅している1967年までのものとし、初年度は歴史的・芸術的価値がより高く話題性が高いと思われる6曲をリリース。また第2年度の配信準備も進行した。(楽曲の詳細は資料①を参照)

また、直近の演奏記録から、ナクソス・ジャパン株式会社の協力のもと作曲家自身も準備に携わった「尾高惇忠作品集」をこの事業の第1弾配信としてリリースした。リリース直前の尾高惇忠氏の逝去が悔やまれるが、生前の同氏との意図「日本人の作品を世界へ紹介」が配信という形で実現できたことは感慨深く、今を生きるオーケストラとしての役割を果たすことができたのではと考える。

商用にあたっては、グローバル・ストリーミング配信のみを選択した。現状ではダウンロード配信に比べ収益性は低いですが、楽団自身が配信事業ノウハウを獲得するため、慎重な活用を選択したものである。ただし、「尾高惇忠作品集」はナクソス・ジャパンの事業実績から、グローバル・ストリーミングおよびダウンロード配信の双方を選択した。

配信事業開始にあたり、自主レーベル「JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA RECORDINGS」(JPO RECORDINGS)を設立。2021年2月12日にディストリビューター(マッセネクスト)に登録した。

JANコード取得、ISRCの取得(トラックごと)、メタデータ作成、リリース用ジャケット作成といった、配信に伴う必要業務は代行でなくすべて自ラ行い、原盤権とともに商品情報を整理、維持管理していく。事業の過程を通して、こういった音源の自主活用に必要な手続きのノウハウを獲得した。メタデータは「権利処理整備事業」のデータとして保存していく。

以上の準備等を経て、2021年3月12日より、デジタル音源の継続的なダウンロード・ストリーミング販売を開始した。

レーベルロゴ



また2020年度第4回評議員会において、定款における事業内容に「レコード原盤制作」の項目を追加する旨決議した。(令和3年3月30日変更、令和3年4月16日登記)

2) 著作隣接権整理事業

(1) 権利処理業務の明示化促進

過去の著作物の出演実演家

現在当団では、東京定期演奏会を中心に主催公演の記録録音を行っている。これらの録音の二次使用（商品化）に際しては原盤権、作品の著作権使用料、楽譜使用料のほか、指揮者、ソリスト等実演家との権利処理が必要となる。前述の通り、実演家には演奏出演したいわゆるエキストラ奏者も多数含まれており、エキストラ実演家の著作隣接権の扱いと権利処理を適切に行うことが必要となる。

当団ではエキストラ実演家に対する出演料の支払いと二次使用料の支払いを分割しているため、本事業実施にあたり、エキストラ奏者についての著作隣接権処理状況の整理を行った。

■日本フィルハーモニー交響楽団におけるエキストラ実演家の著作隣接権(2021年3月現在)

		法人格	エキストラ奏者の著作隣接権	商品化に際する必要処理
1	創立-1967年12月	[旧]財団	権利消滅(時効)	(不要)
2	1968-1972年6月	[旧]財団	エキストラ実演家情報不明	長官裁定の活用へ
3	1972年7月-	任意団体	エキストラ実演家不明	長官裁定の活用へ
4	1985年1月-	現財団	1) 商品化を前提とした録音のみ、実演時に処理 2) 「記録用録音」は商品化に際し処理 * エキストラ情報の保存なし	2) 所在不明の実演家について長官裁定の活用へ
5	1990年ごろ	現財団	エキストラ実演家への「録音料」規定明確化。 1) 同上 2) 同上 * エキストラ情報の保存なし	2) 同上
6	2009年4月-	現財団	1) 同上 2) 東京定期演奏会: 実演時に同時処理 3) その他演奏会: 商品化に際し処理 * エキストラ情報の保存なし(～2013年3月)	3) 所在不明の実演家について長官裁定の活用へ
7	2016年4月-	現財団	記録用を含む全録音について実演時に処理	(不要)

* 実演時の支払調書は7年間保存しており、さかのぼっての追跡可能。

上記の整理に従い、本事業ではまず、エキストラ実演家の著作隣接権処理が不要である上記1、7のカテゴリから商品化を進めることとした。また、権利処理の端緒として、2のカテゴリについて文化庁著作権課と長官裁定の申請準備を開始した。

著作権隣接権保持者との出演契約書見直し検討

現在当団では、記録用録音を行うすべての演奏時に、エキストラ実演家に「出演料」のほか「録音料」として二次使用料を支払っており、権利処理上の課題は解決している。しかし現状の業務遂行においては以下の2点の改善が望ましいことが判明した。

- ・「録音料」の示す内容(放送、配信、録音物の販売等)を明示
- ・業務依頼を現状の「依頼書」(送付のみ)から「出演契約書」(相互確認)へ

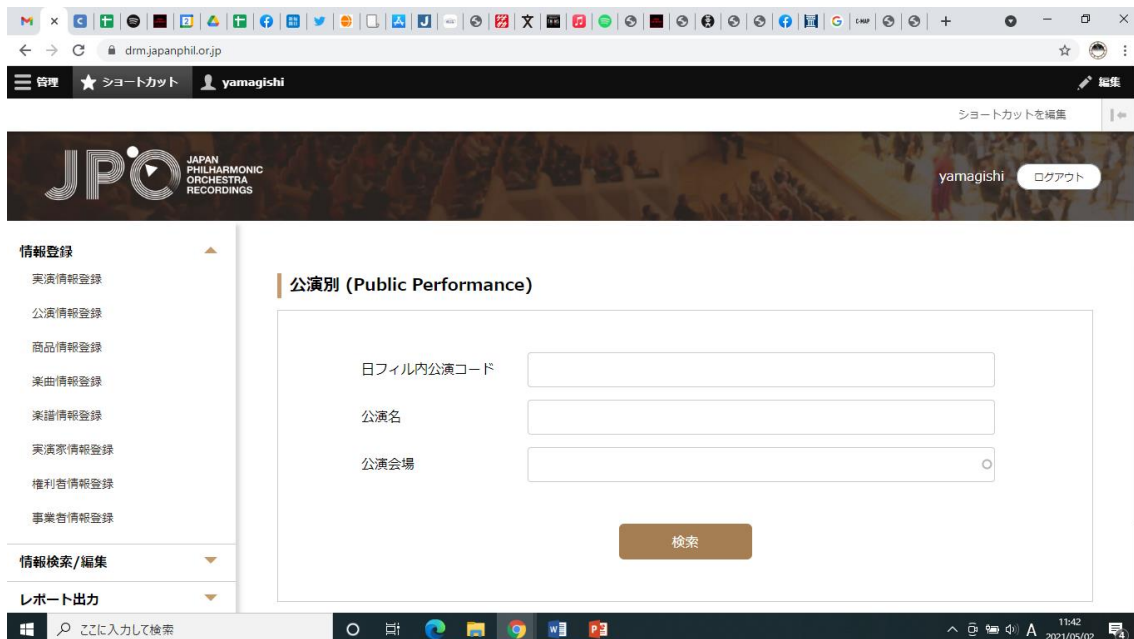
これら2点の解決のため、電子契約の運用を具体的に検討し、実施の体制を整えた。今後楽団のDX戦略と合わせ導入準備を進めていく。

(2) データベースの開発と構築

音源の整備にかかるデータベースを、イッセイ株式会社に委託し開発した。業者選定の理由は、すでに当団の環境整備を委託している実績から、エキストラへの業務発注フローや経理支払いシステムへの連携が容易であることから随意委託したものである。

日本フィルの担当者が委託先のイッセイ株式会社とともに必要なデータ要素検証を行い、データベースのデザイン～システム構築を行っている。

■著作権管理システム(イメージ) ※システム詳細は資料④参照



本システムの特徴は以下の2点である。

- ・通常行われている演奏情報管理(下記の1. 2)に商品化情報(3以下)を紐づけたことにより、外部業者に原盤権を提供した録音情報も含め、演奏音源の情報を一括管理可能
- ・楽譜管理会社やエキストラ奏者の実演家まで含む、演奏音源に関わる全ての権利保持者・権利処理情報が一括可視化され、音源の二次利用にかかる権利処理が円滑化、簡略化。

■データベース要素項目(概要):

1	演奏会情報	演奏会日時・会場等の基本情報	
2	実演情報	1,において演奏された楽曲の実演の基本情報	
3	商品情報	2(実演)の記録の二次使用にかかる基本情報	権利処理情報含む
4	楽曲情報	楽曲の基本情報	著作権状態等の情報含む
5	楽譜情報	2. において使用された楽譜の基本情報	権利処理情報含む
6	出演者情報	2における実演家情報(エキストラ含む)	権利処理情報含む
7	権利者情報	2(実演)にかかるあらゆる権利者[個人]の情報	*2~5と関連
8	事業者情報	2(実演)にかかるあらゆる権利者[法人]の情報	*2~5と関連

3) 成果物の公表

音源の販売

2021年3月12日(金)より継続的な配信を開始。リリース楽曲の詳細は資料①、PR内容は資料②の告知チラシを参照。

初回となる「尾高惇忠作品集」は、準備段階から作曲家自身が関与し、ナクソス・ジャパンの協力で作成した経緯から、CD同様アルバム体裁での2曲パッケージの商品となった。また第2弾以降は、1曲1商品と扱い、配信に即した商品とした。

商品配信による販売実績は、3か月後確定される。ここでは「参考値」として、把握可能な販売成果のみを報告する。

■3/12 配信開始 JPMD-1001「尾高惇忠: 管弦楽作品集」

2021年3月ダウンロード販売実績 [参考値]

		アルバム DL数	(トラック単位 換算DL数)
通常	Mora	4	32
ハイレゾ	Mora	4	32
ハイレゾ	e-onkyo	7	56
	計	15	120

■3/12、26 配信開始タイトル(計 6 曲)

2021 年 3 月ストリーミング販売視聴実績 [参考値]

		視聴数 (トラック単位)
通常	Spotify	129
通常	APPLE MUSIC	2551
通常	AWA	44
	計	2724

著作権管理システムのリリース

構築した管理システムデータベースにリリース音源のメタデータを入力、実稼働しながらシステム運用の検証を行っている。

なお詳細は仕様書を参照いただきたい(資料②)。

3. 事業の成果(自己評価、外部評価)

1) 音源の販売と必要な環境整備

成果1:歴史的価値のある音源発掘と活用

オープンリールの音源のデジタル化およびハイレゾ・マスタリング(原盤制作)の過程を通し、当時の音源保存状態を確認し価値の再検証を図ることができた。特に芸術的、歴史的価値の高いと思われるものを優先しつつ、大量の演奏記録を「活用しながら保存」が可能となった。

特筆すべきは、邦人作曲家への委嘱シリーズ「日本フィル・シリーズ」の初演記録や未商品化音源などが公開でき、日本人作曲家の作品の上演の足跡を残すことができたことであろう。また、ミュンシュ、ストコフスキーの客演記録などは楽壇史としても極めて貴重で、楽界の海外との絆の強さも実演記録から伺うことができる。

また、「スイング・ジャズの帝王」ベニー・グッドマンが日本フィルの演奏家と残したアンサンブルの放送収録音源は、これまで公的にはその実演の事実も知られておらず、演奏内容も音楽的価値が高く、特筆に値する発見であった。ほかにも日本フィルのみならず日本の楽壇の歴史的レガシーと言える音源も数多く含まれ、これらが経年劣化する前の保存活用に成功したことはたいへん意義深い。

事業を通し、楽団が保有する記録音源には商用活用可能音源が多いことを検証した。楽団のみならず音楽界の財産といえるこれらの音源を公開できたこと自体が成果であり、さらに音楽的価値を経済的価値へつなげる道筋も見えてきている。

【マスタリング・エンジニア田林正弘氏(日本コロムビア)へのヒアリング】(2021/3/19 実施)

■録音テープの状態、マスタリングの方針について

94Khz/24bit のデジタル化およびマスタリングの過程でホールノイズ、テープヒスのみ最小限の除去を施した。当時としてはいい状態の録音で、テープの保存状態もたいへん良いが、現代の録音と比べるとヒスノイズや楽器の遠さはある。ラジオ用の収録のため、ダイナミックレンジを広くとらなかったのかもしれないと感じる音源もあった。

日本フィルとの事前確認の通り、基本はできるだけ原音に近い処理とし、音が変わらないようとどめている。録音状態も演奏によって差があり、撮ったままの録音と、もしかしたらマルチでミックスしたかもしれない保存状態の録音もある。音機材等を含めた録音条件により音質の差があり、環境はわからない。テープの外箱に記載された記録も重要。

演奏状況も今と比べると音質、技術の差があるが、驚くような素晴らしい演奏もあった。

■歴史的音源の扱いについてのご意見

費用と時間をかければノイズ処理やさらに細かな修正は可能であるが、当時の演奏の雰囲気を残したマスタリング処理とするかどうかは、商品化にかかるクライアントの判断による。

配信は CD と「廃盤」がないため、小さな需要でも長期的に価値を発揮するだろう。

デジタル音源の保存については複数バックアップをお勧めする。また、今後デジタルの音質について社会からの要求も変わる可能性があり、192khz デジタル音質が標準になるかもしれない。アナログテープの情報量は素晴らしいので、できればオープンリールテープは引き続き保存をお勧めする。

アナログテープのほか DAT も劣化が早いので、ほかの録音もデジタルを急いではどうか。

成果2:レーベルの設立とノウハウの獲得

自主レーベル「JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA RECORDINGS」設立を通し、オーケストラとして音源の自主活用に必要な手続きのノウハウを獲得した。音源の JAN コード、ISRC の取得、リリース用ジャケットやメタデータ等の蓄積は、「権利処理整備事業」における必要なデータの一部として活用していく。

また、APPLE MUSIC, Spotify, Line Music には、レーベル名義で「日本フィルハーモニー交響楽団」のアーティストページを作成した。Spotify では認証アーティストとして登録された。アーティストページにより、日本フィルの音源を一覧で表示、聴取いただくことが可能となった。

■配信事業について、配信音源について

【相場ひろ氏批評】

「日本でも演奏会の映像や音声を各種配信サービスに乗せて発信していくオーケストラは珍しくなくなったが、そうした動きの中でこのたび日本フィルハーモニー交響楽団が、楽団のアーカイブから過去の貴重な音源をネット配信をメインに公開していく自主レーベルを立ち上げた。CD 制作を第一としないオーケストラの自主レーベルは国内では初めてではないかと思う」

「録音状態については、半世紀以上前のライブであるし、ホールの状態がよくないものも見受けられるけれど、復刻にあたってはベストが尽くされているのではと思う。単に日本のオーケストラの歴史を知るといふにとどまらない、熱い名演の数々に触れることができる」

(月刊「レコード芸術」5月号より引用。全文は資料③に掲載)

2) 著作隣接権等の「権利情報集約化の取り組み」

これまで団内で「演奏会記録」「出演者記録」「支払記録」「録音資料」はバラバラに管理されている。これまでは統合管理の必要がなかったこれらのデータをまとめる新たなデータベースをオーケストラ自身が構築する必要があった。システム導入により、「1つのアーティスト」が実演ごとに異なる複数の実演家から構成されるというオーケストラ固有の状況に伴う煩雑な著作隣接権等の権利関係の一括管理が可能となった。

過去音源にかかる手続き上の課題解決:文化庁長官裁定申請書を著作権課に提出し、実務手続きが進んでいることも大きな前進であった。

3) 成果の公表

レーベル設立と音源リリース開始については、2021年2月16日のPR TIMESにて配信するほか、当団 Web,SNS,チラシ等を用いて告知、委託事業の周知につとめた。

また、配信の動向を分析し、収益化見込みの検証を進めている。

データベースシステムはオープン化を想定し Web 上のシステムとした。オーケストラに適したシステムとしての需要喚起を目指し、周知につとめていく。

4. 今後の課題と展望

収益の配分/収益性の強化

配信による利益の確定はおよそ3か月後、4半期ごとになる。今後、配信による収益の指揮者、ソリスト等との分配業務が発生することとなる。今回開発した「著作権管理システム」では権利配分未対応のため、業務対応の手法を今後作成する必要がある。

また、より収益性の高いダウンロード販売についても自主レーベルからの直接販売を検討したい。

ストリーミング配信(定額制音楽配信サービス)による聴取習慣の定着に対応

ストリーミング配信サービスは、APPLE MUSIC, Spotify, AWAといったグローバルサービスの利用者が多い。これら配信サービスの利用状況の参考として、当団自身でデータ取得可能な Spotify の顧客データを分析すると、2021年3月に全世界で177名が440回日本フィルの配信音源をストリーミング視聴していた。その約80%が日本フィルのカタログ経由で視聴しているが、次いで Spotify のプレイリスト経由が多く11%となる。また、顧客のおよそ半数は日本国外在住で、うち1/3はアメリカ、ほかは中央ヨーロッパを中心に北欧、ロシア、アジア、オーストラリア、南米と幅広くリーチされている。性別は約75%が男性、年齢別では45-59歳の年齢層が32%と最も多く、クラシックファン層の動向と重なっていることが判明した。35歳以下の若年層が65%を占めるといわれる一般的な Spotify ユーザー層の動向とは異なっており、クラシックファンが Spotify 経由で音楽に親しむ機会が拡大していることが確認された。

一方、本事業を通して、日本のクラシック市場ではまだ CD 優位であることも実感している。音楽業界自身が、「CD から配信へ」あるいは「ダウンロード視聴からストリーミング視聴へ」という転換にどう対応していくか、またストリーミング配信によって演奏をお楽しみいただくためにも、日本フィルひいてはクラシック音楽全般が、グローバル配信の分野でいかに存在感を強めていくかが、本事業による収益力強化を大きく左右することが想像される。

今後の事業継続によってさらに多くの視聴データを取得できれば、配信固有の PR 手法や更なる音源活用の可能性が見えてくるだろう。例えば、現在のストリーミング配信は CD 音源からの展開が多い。しかし配信の世界にはもはや「アルバム」という概念はなく、単曲での展開になる。また、CD がレーベルベースの展開であるのに対し配信はアーティストベースの展開となる。あるいは、サービス事業や他者作成のプレイリストにいかに加わるかがリーチ数に大きく影響することも想像できる。こういった配信固有の手法は、オーケストラやクラシック業界は一般に蓄積が少なく、今後、JPO RECORDINGS レーベルとして切り拓きたい。

ライブ・コンサート、ライブ配信との役割分担/事業のエコシステム確立

日本フィルにとって主たる事業で最も注力すべきは「演奏会の開催・出演」により生の舞台芸術の魅力を伝えることであるのは言うまでもない。また現在は、演奏会のライブ配信の取り組みも積極的に行っている。音源配信の役割はこれらとは異なる「より身近に音楽のある生活の提供」「音楽に親しむ習慣の定着」といった性格を持つことを重視した展開を模索していきたい。

また日本フィルは「あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ」という活動方針を掲げている。配信によって地理的・時間的・物理的障壁を超えることができるのは間違いない。

例えば日本フィル・シリーズのような日本文化発信では ①自ら「作品を作り(委嘱)」、②「演奏し(初演)」 ③「世界に広める(配信)」というエコシステムづくりを目標に、また日本人アーティストや日本の文化発信における気軽なグローバル展開の手法として、配信独自の役割を確立していきたい。

5. 付録資料

- ① リリース音源一覧
- ② リリース告知チラシ
- ③ レコード芸術 5月号記事
- ④ 「著作権等管理システム」概要(仕様書)-

付録①：リリース音源一覧

■ JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA RECORDINGS 配信一覧 (予定含む)										
商品番号	配信開始日	タイトル	曲目詳細	指揮	独奏等	公演名	公演日時	会場	備考	
JPMD-1001	2021/3/12	尾高博忠管弦楽作品集	交響曲第1番、ピアノ協奏曲	広上淳一	野田清隆	第678・702 回定期	2016/3/4,5 2018/7/6,7	サントリーホール	日本フィル・シリーズ41作 (ピアノ協奏曲)	
JPMD-1015	2021/3/19	ヘニー・グッドマン・ブレイズ・モーツァルト	ワルツ5重奏曲イ長調	-	ヘニー・グッドマン、ブロード アール、渡邊曉雄、河野俊 達、黒沼俊夫	放送用収録	1957.1.16	日本青年館	※モラル	
JPMD-1020	2021/3/19	ブラームス：ハイドンの主題による交響曲		シャルル・ムンシュ		特別演奏会	1962.12.25	東京文化会館		
JPMD-1021	2021/3/19	ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱」		シャルル・ムンシュ		特別演奏会	1962.12.27	東京文化会館		
JPMD-1006	2021/3/26	シェーンベルク：ワルツァの生き残り		渡邊曉雄	伊藤武雄、東京コリアーズ、 二期会合唱団	第31回定期	1961.3.22	東京文化会館		
JPMD-1007	2021/3/26	モーツァルト：交響曲第29番		斎藤秀雄	二期会合唱団、日本合唱協 会、東京リターター・ターフェ ル	第74回定期	1963.12.12	東京文化会館		
JPMD-1011	2021/3/26	黒敏郎：涅槃交響曲		渡邊曉雄		第104回定期	1965.9.15	東京文化会館		
JPMD-1002	2021/4/2	ショーン：交響曲変ロ長調		ジャン・フルネ		第12回定期	1958.12.12	日比谷公会堂	※モラル	
JPMD-1003	2021/4/2	ハンデル：合奏協奏曲		イゴール・ミルグロフチ		第25回定期	1960.9.23	日比谷公会堂		
JPMD-1004	2021/4/2	ハイドン：弦楽協奏曲二長調		渡邊曉雄	ヤン・ジュ・シタルケル	第27回定期	1960.11.28	日比谷公会堂		
JPMD-1005	2021/4/9	ブラームス：アルト・ラプソディー		渡邊曉雄	戸田敏子、東京コリアーズ、 二期会合唱団	第46回定期	1962.6.12	東京文化会館		
JPMD-1008	2021/4/9	グラスノフ：ヴァイオリン協奏曲イ短調		斎藤秀雄	和波孝博	第74回定期	1963.12.12	東京文化会館		
JPMD-1009	2021/4/9	ドヴォルジャーク：スターバト・マテル (抜粋)		渡邊曉雄	毛利純子、藤田みどり、森 敏孝、岡村喬生、東京都民 合唱団	第77回定期	1964.1.28	東京文化会館		
JPMD-1010	2021/4/16	メンデルソーン：ヴァイオリン協奏曲ホ短調		渡邊曉雄	江藤俊哉	第89回定期	1964.9.26	東京文化会館		
JPMD-1013	2021/4/16	シベリウス：交響曲第6番		パーヴォ・ハルグレント		第109回定期	1965.11.26	東京文化会館		
JPMD-1014	2021/4/16	野田暉行：交響曲第1番		渡邊曉雄		第130回定期	1966.12.8	東京文化会館	日本フィル・シリーズ17作	
JPMD-1022	2021/4/23	ラヴェル：左手のためのピアノ協奏曲		ジャン・フルネ	シャルル・リマン	第12回定期	1958.12.12	日比谷公会堂	※モラル	
JPMD-1018	2021/4/23	ラヴェル：「タマシカワエ」第2組曲		シャルル・ムンシュ		第54回定期	1962.12.15	東京文化会館		
JPMD-1019	2021/4/23	ルーセル：「ワカスとアリアス」第2組曲		シャルル・ムンシュ		第59回定期	1962.12.20	東京文化会館		
JPMD-1023	2021/5/14	シューベルト：交響曲第5番		渡邊曉雄		第16回定期	1959.6.24	日比谷公会堂		
JPMD-1024	2021/5/14	ストラヴィンスキー：パトル・シュカ(1947年版)		渡邊曉雄		第16回定期	1959.6.24	日比谷公会堂		
JPMD-1025	2021/5/14	ヴォーン・ウィリアムズ：オリスの主題による幻想曲		渡邊曉雄		第27回定期	1960.11.28	日比谷公会堂	※初演	
JPMD-1026	2021/5/21	柴田南雄：シンフォニア		渡邊曉雄		第28回定期	1960.12.12	日比谷公会堂	※日本の初演	
JPMD-1027	2021/5/21	シベリウス：交響曲第6番		渡邊曉雄		第33回定期	1961.5.22	日比谷公会堂		
JPMD-1028	2021/5/21	チャイコフスキー：交響曲第6番「悲愴」		渡邊曉雄		第40回定期	1962.3.16	東京文化会館		
JPMD-1029	2021/5/28	ドヴォルジャーク：交響曲第7番		渡邊曉雄		第41回定期	1962.3.29	東京文化会館		
JPMD-1030	2021/5/28	ショスタコーヴィチ：交響曲第1番		渡邊曉雄		第44回定期	1962.5.18	東京文化会館		
JPMD-1031	2021/5/28	バルトーク：管弦楽のための協奏曲		渡邊曉雄		第44回定期	1962.5.18	東京文化会館		
JPMD-1032	2021/6/4	ホグラーニ：弦楽協奏曲第9番		渡邊曉雄	カポル・レイト (ライト)	第47回定期	1962.6.26	東京文化会館		
JPMD-1033	2021/6/4	プロホフ：シロエ		渡邊曉雄	カポル・レイト (ライト)	第47回定期	1962.6.26	東京文化会館		
JPMD-1034	2021/6/4	フランク：交響曲二短調		渡邊曉雄		第47回定期	1962.6.26	東京文化会館		
JPMD-1038	2021/6/11	シューマン：弦楽協奏曲イ短調		渡邊曉雄		第47回定期	1962.6.26	東京文化会館		
JPMD-1040	2021/6/11	シベリウス：交響曲第7番		渡邊曉雄	ツヴィ・レル	第53回定期	1962.11.27	東京文化会館		
JPMD-1041	2021/6/11	ラマニョフ：ピアノ協奏曲第3番		渡邊曉雄		第66回定期	1963.6.13	東京文化会館		
JPMD-1073	2021/6/18	森川也寸志：オスティーント・シノニカ		渡邊曉雄	松浦豊明	第141回定期	1967.5.25	東京文化会館	日本フィル・シリーズ18作	
JPMD-1082	2021/6/18	(未定)	パツハ：トッカータ7-ガ	レオポルト・ストコフスキー		特別演奏会	1965.7.13	日本武道館		
JPMD-1083	2021/6/18	(未定)	パートル・ゲン：運命	レオポルト・ストコフスキー		特別演奏会	1965.7.13	日本武道館		
JPMD-1035	2021/6/25	モーツァルト：交響曲第35番「ハフナー」		ペーター・マク		第48回定期	1962.9.19	東京文化会館		
JPMD-1036	2021/6/25	モーツァルト：6つのドイツ舞曲		ペーター・マク		第49回定期	1962.9.29	東京文化会館		
JPMD-1037	2021/6/25	モーツァルト交響曲第32番		ペーター・マク		第49回定期	1962.9.29	東京文化会館		



JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA
RECORDINGS

日本フィルハーモニー交響楽団自主レーベルスタート!

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA RECORDINGS

日本フィルハーモニー交響楽団は、日本のオーケストラとして初となる歴史的音源の本格配信を開始します。

「あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ」を活動の指針として、社会的活動を含む多くの事業を行っている

日本フィルは、コロナ禍でライブの演奏会へのご来場が困難と感じる方などにも音楽をお楽しみいただく機会を増やすため、楽団創立65周年を迎える今年、音源の活用強化を目的として自主レーベルを設立いたしました。

3月は7タイトルをリリース。今後も継続的に配信していく計画です。(配信サイト、今後のリリース予定は裏面をご参照ください)

Atsutada Otaka

Concerto
pour piano et orchestre

Kiyotaka Noda,
Piano

Symphonie
"Au-delà du temps"

Junichi Hirokami,
Conductor
Japan Philharmonic
Orchestra

JPMD-1001

尾高惇忠:管弦楽作品集

ピアノ協奏曲/交響曲《時の彼方へ》

※協力:ナクソス・ジャパン

指揮:広上淳一

独奏:野田清隆



BENNY
GOODMAN
Plays

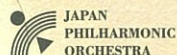
MOZART
Clarinet Quintet K.581

Broadus ERLE,
Akeo WATANABE,
Shuntatsu KOHNO,
Toshio KURONUMA

JPMD-1015

ベニー・グッドマン・プレイズ・
モーツァルト:クラリネット五重奏曲

(1957/1/16) ※モノラル録音
クラリネット:ベニー・グッドマン
ヴァイオリン:ブロードラス・アール、渡邊暁雄
ヴィオラ:河野俊達
チェロ:黒沼俊夫



現代の名作を未来の歴史遺産に

尾高惇忠の作品を知る初のリリース!

尾高惇忠 管弦楽作品集

日本を代表する作曲家の一人で、今年2月16日に惜しくも逝去した尾高惇忠と、愛弟子・広上淳一とのコンビによる演奏の記録。尾高惇忠の管弦楽作品集としては初のアルバムとなる本作は、日本フィル・シリーズ第41作となる「ピアノ協奏曲」(2016年世界初演)と2012年第60回尾高賞受賞曲「交響曲《時の彼方へ》」(2018年)のカップリング。

3月12日(金)国内先行リリース

グローバル配信サイトは4月23日(金)より配信スタート

ピアノ大好き人間である私にとって、このピアノ協奏曲はかけがえのない宝物です。私の弟子でもある指揮者の広上淳一さん、ピアノの野田清隆さん、そして日本フィルの方々との熱のこもった演奏は、当日サントリーホールでの鳴りやまない拍手を生みました。交響曲は東日本大震災の年、2011年に仙台フィルハーモニー管弦楽団により初演されました。生涯に一つは交響曲を書きたいと願った結果が、この「時の彼方へ」の誕生である。作曲中、震災を意識したかとの問いが幾つかあったが、それは全く無かった。しかし、今振り返ってみると、どこかに常に私が持つ現代社会への不安が内在しているかもしれない。この度、ピアノ協奏曲、交響曲が配信されるのは大きな喜びです。多くの方に楽しんでいただけたら幸いです。

2021年2月10日 尾高惇忠

創立期の音源[オープンリール]から

24bit/96kHz ハイレゾ・マスタリング配信!

ベニー・グッドマン

1957年、わずか1週間の初来日中に、ブロードラス・アールや渡邊暁雄ほか日本フィルの音楽家と残した貴重な放送音源を初公開。

シャルル・ミュンシュ指揮

世界的指揮者シャルル・ミュンシュが日本のオーケストラを指揮した最初で最後の機会となった1962年の日本フィルへの客演。「伝説の公演」がハイレゾ・マスタリングで蘇ります。



JPMD-1020

ブラームス:
ハイドンの主題による変奏曲

(1962/12/25)



JPMD-1021

ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱」

(1962/12/27)

独唱:浦生能扶子、小野邦代、森敏孝、岡村喬生
合唱:東京混声合唱団、二期会合唱団



JPMD-1006

シェーンベルク:ワルシャワの生き残り

指揮:渡邊暁雄

第31回東京定期演奏会
(1961/3/22)

ナビゲーター:伊藤武雄

合唱:東京コラリアーズ、二期会合唱団



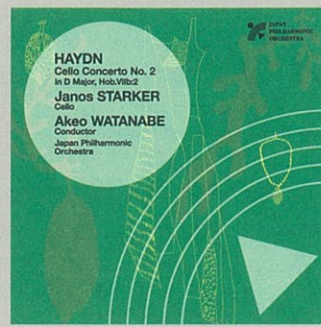
JPMD-1011

黛敏郎:涅槃交響曲

指揮:渡邊暁雄

第104回東京定期演奏会
(1965/9/15)

合唱:二期会合唱団、日本合唱協会、
東京リーダー・ターフェルフェライン



JPMD-1004

ハイドン:チェロ協奏曲

独奏:ヤーノシュ・シュタルケル

指揮:渡邊暁雄

第27回東京定期演奏会
(1960/11/28)

会場:日比谷公会堂



JPMD-1007

モーツァルト:交響曲第29番

指揮:齋藤秀雄

第74回東京定期演奏会
(1963/12/12)

順次配信予定



1. JPMD-1002 ショーンソン:交響曲 指揮:ジャン・フルネ 第12回東京定期演奏会(1958/12/12) 会場:日比谷公会堂 ※モノラル録音
2. JPMD-1003 ヘンデル:合奏協奏曲 Op. 6 第5番 指揮:イゴール・マルケヴィッチ 第25回東京定期演奏会(1960/9/23) 会場:日比谷公会堂
3. JPMD-1005 プラムス:アルト・ラブソディ 指揮:渡邊暁雄 第46回東京定期演奏会(1962/6/12) 独唱:戸田敏子 合唱:東京コラリアーズ、二期会合唱団
4. JPMD-1008 グラスノフ:ヴァイオリン協奏曲 独奏:和波孝禧 指揮:齋藤秀雄 第74回東京定期演奏会(1963/12/12)
5. JPMD-1009 ドヴォルザーク:スターバト・マーテル 指揮:渡邊暁雄 第77回東京定期演奏会(1964/1/28) 独唱:毛利純子、藤田みどり、森敏孝、岡村喬生 合唱:東京都民合唱団
6. JPMD-1010 メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲ホ短調 独奏:江藤俊哉 指揮:渡邊暁雄 第89回東京定期演奏会(1964/9/26)
7. JPMD-1013 シベリウス:交響曲第6番 指揮:パーヴォ・ベルグルンド 第109回東京定期演奏会(1965/11/26)
8. JPMD-1014 野田暉行:交響曲第1番[日本フィル・シリーズ第17作 世界初演] 指揮:渡邊暁雄 第130回東京定期演奏会(1966/12/8)
9. JPMD-1022 ラヴェル:左手のためのピアノ協奏曲 独奏:シャルル・リラン 指揮:ジャン・フルネ 第12回東京定期演奏会(1958/12/12) 会場:日比谷公会堂 ※モノラル録音

日本フィルを指揮したマエストロ



渡邊暁雄 (1919-1990)

日本フィル創立指揮者。幅広いプログラミングと斬新な演奏で、渡邊×日本フィルは大きなセンセーションを巻き起こした。

ジャン・フルネ (1913-2008)

1958年初共演時、放送はまだモノラル録音だった。繊細・高雅、明晰、頑固。ラテンの血を日本フィルに注いだ。

齋藤秀雄 (1902-1974)

指揮者、教育者として日本のオーケストラの礎を築いた。日本フィルにもたびたび客演、サウンドに磨きをかけた。



シャルル・ミュンシュ (1891-1968)

世界的指揮者ミュンシュが日本のオーケストラを指揮した最初で最後の機会、1962年の「伝説の公演」が蘇る。

イゴール・マルケヴィッチ (1912-1983)

1960年の初来日で鮮烈な印象を残したマルケヴィッチは、20年にわたり日本フィルに登場、のちに名誉指揮者に就任した。

パーヴォ・ベルグルンド (1929-2012)

フィンランドを代表する名匠、シベリウス演奏の大家。渡邊暁雄とともに、日本フィルの十八番シベリウスの名演を残した。

配信サイト

「尾高惇忠:管弦楽作品集」 主な配信サイト

● 国内配信サイト

[ストリーミング] LINE MUSIC、AWA、dヒッツ
[ダウンロード(ハイレゾ)] e-onkyo music、mora、レコチョク
[ダウンロード(通常音質)] mora、レコチョク

● グローバル配信サイト 4月16日(金)配信開始

[ストリーミング] Apple Music、Spotify、
Amazon Music Unlimited、YouTube Music
*ナクソス・ミュージック・ライブラリーは4月23日(金)より配信予定
[ダウンロード(通常音質)] iTunes Store、Amazon digital

「創立期のライブ音源」 主な配信サイト *ストリーミングのみ

● 国内配信サイト

LINE MUSIC、AWA、dヒッツ、レコチョク、楽天ミュージック

● グローバル配信サイト

Apple Music、Spotify、Amazon Music、YouTube Music、
Deezer(ハイレゾ対応サービスあり)、
Facebook / Instagram(ミュージックスタンプ)

○ リリース特設サイト <https://japanphil.or.jp/news/jporecordings>

配信商品情報
(随時更新)

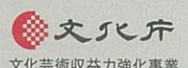


人、音楽、自然—日本フィルのテーマです。



制作:公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1

ジャケット・デザイン:D&DESIGN / D&DEPARTMENT PROJECT イラストレーション:山田博之



文化芸術収益力強化事業

クラシック版
インターネット配信
音源ガイド

今月のダウンロード・テーマ

日本フィルのネット配信スタートと 追悼ピエール・バルドン

相場ひろ

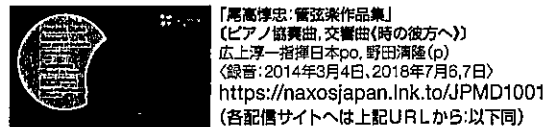
様々なバリエーションが増えたネット配信の形

当連載が始まったのは2011年1月号であった。当時はそれまでの演奏会+ディスクという音楽家の発信方法にインターネット上での配信が加わり、リスナーにとって世界が大きく変わるうかという時代で、その流れを受けての企画だったのだが、その後ネットの配信事業も独自の進化を遂げて、音源販売のみならずライブ配信、ストリーミング配信といったフォーマットが登場し、今や国内外において、何らかのかたちでネット配信を手がけるオーケストラは、決して珍しい存在ではなくなった。オーケストラに限って言うと、21世紀始め、国際的なメジャー・レーベルによるクラシック音楽

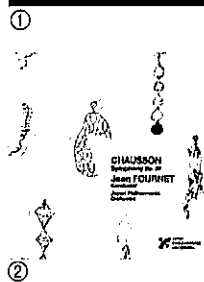
楽取り扱いの劇的な減退を受けて、各地の楽団が自主レーベルによるディスク制作に取り組みようになったが、その後彼らの情報発信事業はその動きすらも呑み込んで、ライブ配信、ストリーミング配信が主流になりつつある。これに追い打ちをかけたのが昨今のコロナ禍で、外出の自粛が呼びかけられ、ときには禁止すらされるご時世で、無観客による演奏会の開催とその配信が主な活動となっているオーケストラも存在する。

日本フィルがスタートさせた ストリーミング配信

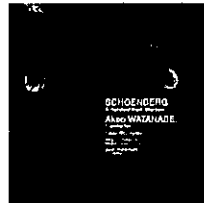
日本でも演奏会の映像や音声を各種配信サービスに乗せて発信していくオーケストラは珍しくなくなったが、そうした動きの中でこのたび日本フィルハーモニー交響楽団が、楽団のアーカイブから過去の貴重な音源をネット配信をメインに公開していく自主レーベルを立ち上げた。CD制作を第一としながらいオーケストラの自主レーベルは、国内では初めてではないかと思う。レーベル名は「JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA RECORDINGS」その事業展開のメインはストリーミング配信となる。利用できるサイトは



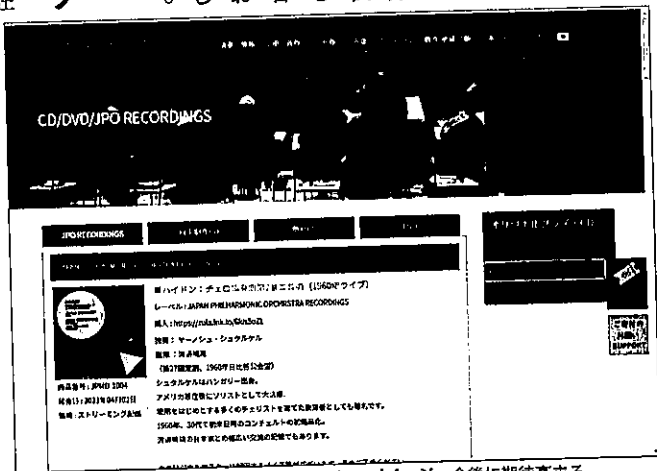
【尾高惇忠：管弦楽作品集】
(ピアノ協奏曲、交響曲(時の彼方へ))
広上淳一指揮日本po、野田清隆(p)
(録音:2014年3月4日、2018年7月6,7日)
<https://naxosjapan.lnk.to/JJPM1001>
(各配信サイトへは上記URLから以下同)



ショーソン:交響曲交響曲長調
ジャン・フルネ指揮日本po
(録音:1958年12月12日)
<https://zula.lnk.to/c6GgwZL>



シェーンベルク:ワルシャワの生き残り
渡邊暁雄指揮日本po、ナビゲーター:伊藤武雄
合唱:東京コラリアーズ、二期会cho
(録音:1961年3月22日)
<https://zula.lnk.to/Jx9WEX>



日本フィルのウェブ・サイトのトップページ。今後に期待高まる。

グローバルなサービスではApple Music、Spotify、Amazon Music、YouTube Music、Deezer、Facebook/Instagram、国内向けにはLINE MUSIC、AWA、dミュージック、レコチョク、楽天ミュージックと、全部で11のサイトで聴くことができる。音源は24bit/96kHzの高品質で制作されているので、対応するDeezerではハイレン音質で聴くことが可能だ。

レーベル第一弾は最新のライブ録音から、先頭惜しくも亡くなった尾高惇忠の管弦楽曲2編を収録したアルバム【①】で、3月12日に配信が開始された。なおこのアルバムはナクソス・ジャパンとの共同制作で、ナクソスでも配信される他、e-onkyo、moira、レコチョクなどではハイレン・フォーマットを含むダウンロード販売も行なっている。

尾高惇忠は作品数が決して多くはなかったために知名度の点で大きく損をしているけれども、堅実な書法と真摯な創作姿勢を誇り、良質な音楽を生み出した作曲家であった。今回は高校時代より彼の教えを受けたという広上淳一が指揮をとったライブ録音で、2011年に仙台フィルが初演した交

響曲《時の彼方へ》の18年の再演で、日本フィル・シリーズ第41作として作曲されたピアノ協奏曲の、16年に行なわれた初演が収録される。後者のピアノ独奏は野田清隆である。どちらも手堅い管弦楽書法の上に、気分の変転の激しい、それでいて根底に優しいや人柄のよさを感じさせて気持ちのよい音楽で、日本フィルの合奏もよく練れており、この作曲家の真価を知らしめるのに格好のアルバムと思う。

フルネのショーソンに 渡邊暁雄のシェーンベルク

レーベル第二弾以降は、現在のところ1957年に第一回定期演奏会を行なった日本フィルの、初期のライブ録音から発掘された音源を次々に紹介していくとのことだ。長短と混雑してここまで週3本ずつ配信アルバムを増やしている。伝説的な名演と言われながら、許諾関係の問題で公開不可とされていたシャルル・ミュンシユとの62年のベートーヴェン《第九》や、渡邊暁雄指揮による篠塚郎の《海賊交響曲》(65年ライブ)などは大いに注目を浴びるであろうが、筆者として

はまずジャン・フルネ指揮による58年のショーソンの交響曲を推そう【②】。フルネがドビュッシーの《ペレアスとメリザンド》日本初演を振るために来日した際の演奏会の記録で、弦の響きといい、管楽器の和音といい、創設2年目の日本のオーケストラとはとても思えない美しいサウンドを作り出して、あらためてこの指揮者の稀有な才能に驚嘆させられる。

また、渡邊暁雄が61年に演奏したシェーンベルクの《ワルシャワの生き

残り【③】もすばらしい。48年に世界初演されたばかりのこの作品を探り上げて、聴き手に息継ぎも与えながらほめていくのもった、鮮烈な演奏を聴かせてくれる。語りを担当する伊藤武雄の英語ははつきりと日本語訳だけども、流暢・明確で不足を感じさせない。むしろ、この曲に関しては非ネイティブの英語でないと伝わらないものもあると思うので、この人選は好ましい。

現在までのラインナップには、その他にベニー・グッドマン来日時室内楽演奏会や、チェロのヤーン・シユタルケルとの協奏曲など、貴重な音源が既にいくつも入っている。録音状態については、半世紀以上前のライブであるし、ホール状態がよくないものも見受けられるけれども、復刻にあたってはベストが尽くされているのではと思う。単に日本のオーケストラの歴史を知るといってしまえない、熱い名演の数々に触れることができるので、ぜひともお聴きいただきたい。音源についての情報は、各種ストリーミング配信の都合で記載されていないものもあると思うので、以下のURLを参照して欲しい。 https://japanphil.or.jp/goods/cd_dvd

作業報告内容

本システムは日本フィルハーモニー交響楽団様における、様々なステークホルダー様における権利関係処理(著作権管理および著作隣接権管理等)をウェブインターフェイスで入力、編集、表示を行うためのシステムです。本システムはDrupalと呼ばれるCMS(Content Management System:コンテンツ管理システム)をベースにイッセイ株式会社(弊社)がカスタム開発したものです。

本納品書には、弊社にて行ったコンテンツタイプ設計およびデザインについての仕様書を添付いたします。また、開発環境および本番環境へのアクセス方法について記しております。

- コンテンツタイプ
 - 公演情報
 - 実演情報
 - 商品情報
 - 楽曲情報
 - 楽譜情報
 - 実演家情報
 - 権利者情報
 - 事業者情報
- デザイン
 - フロントエンド周りのワイヤーフレーム等
- 開発環境および本番環境へのアクセス方法

備考

特記事項は特になし

DB-公演情報 Public Performance Information

Public Performance Information

Field label should be in Japanese. Use english field name for machine name

Field Name in Japanese	Field name in English	Field Type	Field number	Required field	note
公演コード	public performance code	INT	1	*	automatically assigned by drupal
日フィル内公演コード	japanphil public performance code	string	1	*	unique code
公演名	Performance name	string	1	*	
公演名 (英語)	Performance name in English	string	1	*	
公演日	Performance date	date	1	*	YYYY/MM/DD
公演開演時間	Performance start time	time	1		hour:minute
公演会場	Performance venue	taxonomy term	1		
主催者名	Organizer name	taxonomy term	N		
備考	note	textarea (plain)	1		
関連実演情報	Related Music Performance Information	Entity reference to Musical Performance Information	N		

DB-実演情報 Music Performance Information

Music Performance Information

Field label should be in Japanese. Use english field name for machine name

Field name in Japanese	Field name in English	Field Type	Field Number	Required field	Note
実演コード	music performance code	INT	1	*	automatically generated by drupal
演奏名	performance name	string	1	*	
演奏名 (英語)	performance name in English	string	1	*	
演奏日	performance date	date	1	*	YYYY/MM/DD
演奏時間	performance duration	time	1		length of the performnce in minutes and seconds
録音形式	recording format	taxonomy term	1		
ISRC	International Standard Recording Code	string	N	*	
備考	note	text	1		
関連使用楽曲	Related Musical Composition Information	Entity reference to Musical Composition Information	N		
関連使用楽譜	Related Musical Score Information	Entity reference to Musical Score Information	N		
関連実演家 (指揮者)	Related Performer Information (Conductor)	Entity reference to Performer Information	1		
関連実演家 (ソリスト)	Related Performer Information (Solist)	Entity reference to Performer Information	N		
関連実演家	Related Performer Information	Entity reference to Performer Information	N		
関連実演家 (エキストラ)	Related Performer Information (extra)	Entity reference to Performer Information	N		
関連事業者情報	Related Business Operator Information	Entity reference to Business Operator Information	N		
関連権利者 (マスタリングエンジニア)	Related Right Holder Information (Mastering Engineer)	Entity reference to Right Holder Information	N		
関連権利者 (レコーディングエンジニア)	Related Right Holder Information (Recording Engineer)	Entity reference to Right Holder Information	N		
関連権利者	Related Right Holder Information	Entity reference to Right Holder Information	N		

DB-商品情報 Product Information

Product Information

Field label should be in Japanese. Use english field name for machine name

Field name in Japanese	Field name in English	Field type	Number of fields	Required field	Note
商品コード	Product code	INT	1	*	automatically generated by drupal
商品名	Product name	string	1	*	
商品名 (英語)	Product name in English	string	1	*	
商品形態	Product format	taxonomy term	1		download, streaming, physical
発売日	Release date	date	1		YYYY/MM/DD
販売状態	Sales status	taxonomy term	1		in stock, sold out
売上額	Proceeds	integer	1		Yen (Currency?)
売上数	units sold	integer	1		integer
JANコード	JAN code	integer	1		13 digits
備考	note	text area (plain text)	1		
関連対象公演	Related Public Performance Information	Entity reference to Public Performance Information	N		
関連実演	Related Music Performance Information	Entity reference to Music Performance Information	N		

DB-楽曲情報 Musical Composition Information

Musical Composition Information

Field label should be in Japanese. Use english field name for machine name

Field name in Japanese	Field name in English	Field type	Field number	Required field	note
楽曲コード	music code	INT	1	*	automatically generated by drupal
楽曲名	music name	string	1	*	
楽曲名 (英語)	music name in English	string	1	*	
JASRACコード	JASRAC code	string	1	*	
ISWC	ISWC	string	1	*	
出版者名	Publisher name	string	1		
出版者名 (英語)	Publisher name in English	string	1		
備考	note	text	1		
関連権利者 (作曲者)	Related Right Holder Information (Composer)	Entity reference to Right Holder Information	N		
関連権利者 (作詞者)	Related Right Holder Information (Lyric Writer)	Entity reference to Right Holder Information	N		
関連権利者 (著作権管理者)	Related Right Holder Information (Copyright Manager)	Entity reference to Right Holder Information	N		

DB-楽譜情報 Musical Score Information

Musical Score Information

Field label should be in Japanese. Use english field name for machine name

Field name in Japanese	Field name in English	Field type	Field number	Required field	note
楽譜コード	musical score code	INT	1	*	automatically generated by drupal
楽譜名	score name	string	1	*	
楽譜名 (英語)	score name in English	string	1	*	
JASRACコード	JASRAC code	string	1	*	
ISWC	ISWC	string	1	*	
作品タイトル	title	string	1		
作品タイトル (英語)	title in English	string	1		
出版者名	Publisher name	string	1		
出版者名 (英語)	Publisher name in English	string	1		
備考	note	text	1		
関連権利者	Related Right Holder Information	Entity reference to Right Holder Information	N		

DB-実演家情報 Performer Information

Performer Information

Field label should be in Japanese. Use english field name for machine name

Field name in Japanese	Field name in English	Field type	Field number	Required field	note
実演家コード	Performer code	INT	1	*	automatically generated by drupal
氏名	Name	string	1	*	
氏名 (英語)	Name in English	string	1	*	
権利者種別	Performer type	taxonomy term	1	*	
演奏パート	Performer part	taxonomy term	1	*	
郵便番号	zip code	string	1		
住所	address	string	1		
電話番号	phone number	string	1		
メールアドレス	mail address	string	1		
銀行名	bank name	string	1		
銀行コード	bank code	string	1		
支店名	branch name	string	1		
支店コード	branch code	string	1		
口座種別	account type	taxonomy term	1		
口座番号	account number	string	1		
備考	note	text	1		

DB-権利者情報 Right Holder Information

Right Holder Information

Field label should be in Japanese. Use english field name for machine name

Field name in Japanese	Field name in English	Field type	Field number	Required field	note
権利者コード	Right holder code	INT	1	*	automatically generated by drupal
氏名	Name	string	1	*	
氏名 (英語)	Name in English	string	1	*	
権利種別	Right type	taxonomy term	1	*	
郵便番号	zip code	string	1		
住所	address	string	1		
電話番号	phone number	string	1		
メールアドレス	mail address	string	1		
銀行名	bank name	string	1		
銀行コード	bank code	string	1		
支店名	branch name	string	1		
支店コード	branch code	string	1		
口座種別	account type	taxonomy term	1		
口座番号	account number	string	1		
備考	note	text	1		

DB-事業者情報 Business Operator Information

Business Operator Information

Field label should be in Japanese. Use english field name for machine name

Field name in Japanese	Field name in English	Field type	Field number	Required field	note
事業者コード	Business operator code	INT	1	*	automatically generated by drupal
事業者名	Business operator name	string	1	*	
事業者名（英語）	Business operator name in English	string	1	*	
権利種別	Business operator type	taxonomy term	1	*	
郵便番号	zip code	string	1		
住所	address	string	1		Address can be more than 255 characters so Text Plain Long field is used.
電話番号	phone number	string	1		
メールアドレス	mail address	string	1		email field is used here.
担当者名	representative name	string	1		
銀行名	bank name	string	1		
銀行コード	bank code	string	1		
支店名	branch name	string	1		
支店コード	branch code	string	1		
口座種別	account type	taxonomy term	1		
口座番号	account number	string	1		
備考	note	text	1		

Design 詳細 (Design detail)

Note: Adobe XD Password User2021

公演情報検索ページ

Public performance search page

<https://xd.adobe.com/view/207ae2a5-0b5b-4e4a-7239-ec7580370e71-564b/screen/07da6768-ebb5-4bdd-b2a4-862b60662e0d>

公演関係者レポート

Public performance related person' s report

<https://xd.adobe.com/view/207ae2a5-0b5b-4e4a-7239-ec7580370e71-564b/screen/fee0d6e4-5d92-4e78-b03a-67fba12d1e76>

Design Format

Note: Adobe XD Password User2021

<https://xd.adobe.com/view/207ae2a5-0b5b-4e4a-7239-ec7580370e71-564b/screen/4369da0b-0ff6-4872-a8d4-96be17fb2600>

Design-Color System

XD

<https://xd.adobe.com/view/207ae2a5-0b5b-4e4a-7239-ec7580370e71-564b/screen/3dfa1559-6463-412a-9c56-854237a3a634/variables/>

Note: Adobe XD Password User2021

Main

- Main Color-Black #332B28
- Main Color-Gold #C59B6D
- Main Color-Gold-Dark #A57E53
- Main Color-Red #E21419

From Text

- Form Color-Form Text Defalt #9F9F9F

Border

- Border Color #9F9F9F
- Border Color #CCCCCC

Background

- Back Color #A57E53
- Back Color-Light #D9C1A6
- Back Color-Extra-Light #F2EAD9
- Back Color Gray #CBCBCB
- Back Color Gray-Light #EAEAEA
- Back Color Gray-Extra-Light #F4F4F4

Sub

- Sub Color #317EB4
- Sub Color-Dark #125B8E
- Sub Color-Light #A4CEEB
- Sub Color-Extra-light #E7F2FA

Design-Color System

XD

<https://xd.adobe.com/view/207ae2a5-0b5b-4e4a-7239-ec7580370e71-564b/screen/3dfa1559-6463-412a-9c56-854237a3a634/variables/>

Note: Adobe XD Password User2021

Main

- Main Color-Black #332B28
- Main Color-Gold #C59B6D
- Main Color-Gold-Dark #A57E53
- Main Color-Red #E21419

From Text

- Form Color-Form Text Defalt #9F9F9F

Border

- Border Color #9F9F9F
- Border Color #CCCCCC

Background

- Back Color #A57E53
- Back Color-Light #D9C1A6
- Back Color-Extra-Light #F2EAD9
- Back Color Gray #CBCBCB
- Back Color Gray-Light #EAEAEA
- Back Color Gray-Extra-Light #F4F4F4

Sub

- Sub Color #317EB4
- Sub Color-Dark #125B8E
- Sub Color-Light #A4CEEB
- Sub Color-Extra-light #E7F2FA

Design Font-system

XD

<https://xd.adobe.com/view/207ae2a5-0b5b-4e4a-7239-ec7580370e71-564b/screen/24c048dc-c313-4c12-a77c-ad7766588e41>

Note: Adobe XD Password User2021

Font-Family

メイリオ Hiragino Kaku Gothic ProN Meiryo Verdana Roboto sans-serif

Font-size, Font-weight

H1 (Heading) 20px Bold

H2 (Heading) 16px Bold

H3 (Heading) 16px Bold

H4 (Heading) 16px Bold

H5 (Heading) 16px Bold

H6 (Heading) 16px Bold

Body copy Extra Large 20px Nomal

Body copy Large 16px Nomal

Body copy Medium 14px Nomal

Body copy Small 13px Nomal

Body copy Extra Small 12px Nomal

Link Text

Text Button Color=#A57E53 Underbar

Text Link Color=#E21419 Underbar

Design-UI

Note: Adobe XD Password User2021

Button

<https://xd.adobe.com/view/207ae2a5-0b5b-4e4a-7239-ec7580370e71-564b/screen/3c57bb1e-5afe-4583-bb0d-aa5136a6a4d9>

Note :

Hover時は透明度 60%

Form

<https://xd.adobe.com/view/207ae2a5-0b5b-4e4a-7239-ec7580370e71-564b/screen/e0676ac3-9a6d-4456-9a2f-328823a1d00e>

Table

<https://xd.adobe.com/view/207ae2a5-0b5b-4e4a-7239-ec7580370e71-564b/screen/2eee7941-3866-4205-8114-2a203ccf6e10>

Note :

テーブル幅がサイト幅より広い場合は、スクロールがついて左右にスライドできる

Pagination

<https://xd.adobe.com/view/207ae2a5-0b5b-4e4a-7239-ec7580370e71-564b/screen/373337af-bd62-4e18-9974-b02eec888b74>

Note :

- ・検索結果が20件以上の場合に表示される。

Images

<https://xd.adobe.com/view/207ae2a5-0b5b-4e4a-7239-ec7580370e71-564b/screen/4bc6fed9-f22f-4eaa-b0fb-e0355b892ced>

ロゴ

<http://hi-fn.com/genero/logo.png>

ヘッダー背景

http://hi-fn.com/genero/header_bg_img.jpg

Header

<https://xd.adobe.com/view/207ae2a5-0b5b-4e4a-7239-ec7580370e71-564b/screen/fb192191-d2e9-450c-a186-3fe5ba790d35>

Note :

- ・「ログインボタン」の表示はログイン時は「ログアウト」に変わる。
- ・ログイン時はログイン者名を表示する

Sidebar

<https://xd.adobe.com/view/207ae2a5-0b5b-4e4a-7239-ec7580370e71-564b/screen/fe28d57a-c62a-48ca-bead-669a440a0895>

Note :

- ・初期値は「レポート」が展開している
- ・どれかを展開すると、他が閉じる

Footer

<https://xd.adobe.com/view/207ae2a5-0b5b-4e4a-7239-ec7580370e71-564b/screen/a331fc6b-418e-4463-8066-184ee4c3db80>

Side Menu link

情報登録		Heading
	実演情報登録	/node/add/music_performance_info
	公演情報登録	/node/add/public_performance_info
	商品情報登録	/node/add/product_information
	楽曲情報登録	/node/add/musical_composition_info
	楽譜情報登録	/node/add/musical_score_info
	実演家情報登録	/node/add/performer_information
	権利者情報登録	/node/add/right_holder_info
	事業者情報登録	/node/add/business_operator_information
情報検索/編集		Heading
	実演情報検索	/admin/content? title=&type=music_performance_info&langcode=All&moderation_state=All
	実演情報-関連者著作隣接権 設定	/
	公演情報検索	/admin/content? title=&type=public_performance_info&langcode=All&moderation_state=All
	商品情報検索検索	/admin/content? title=&type=product_information&langcode=All&moderation_state=All
	楽曲情報検索	/admin/content? title=&type=musical_composition_info&langcode=All&moderation_state=All
	楽曲-著作権設定	/
	楽譜情報検索	/admin/content? title=&type=musical_score_info&langcode=All&moderation_state=All
	楽譜-著作権設定	/
	実演家情報検索	/admin/content? title=&type=performer_information&langcode=All&moderation_state=All
	権利者情報検索	/admin/content? title=&type=right_holder_info&langcode=All&moderation_state=All
	事業者情報検索	/admin/content? title=&type=business_operator_information&langcode=All&moderation_state=All
レポート出力		Heading
	公演別	/
	商品別	/
	演奏別	/
設定		Heading
	ユーザー一覧	/admin/people
	マスター登録 (タクソノミー 登録)	/admin/structure/taxonomy

開発環境、および、本館環境へのアクセス情報について

- 開発環境
 - URL: <https://dev-54ta5gq-iq45hnw3desbk.us-3.platformsh.site>
 - Basic認証情報: jphildrm / sengoku888
- 本番環境
 - URL: <https://master-7rqtwti-iq45hnw3desbk.us-3.platformsh.site>
 - Basic認証情報: jphildrm / sengoku888